

fine Cut/Coat 9 *for Illustrator®*

プリセット・リプロット機能ガイド

目次

はじめに	4
プリセット	4
リプロット	4
ご注意	5
この説明書について	6
本文中の表記について	6
マークについて	6
本書および関連説明書の入手方法	6

第1章 プリセットの登録と設定

1.1 プリセットの概要	8
プリセットに保存可能な設定	8
プリセットの使用方法	8
1.2 ワークフロー	9
[プリセット設定]からプリセットを登録する場合	9
FineCut/Coat9からプリセットを登録する場合	9
1.3 レイヤーの登録	10
概要	10
レイヤー設定画面	11
レイヤー名の登録手順	12
1.4 カラーの登録	14
概要	14
カラー設定画面	15
デザインデータからのカラー登録	16
カラーの成分値でのカラー登録	18
1.5 プリセットの新規登録	21
レイヤーごとに出力条件を指定する場合	21
カラーごとに出力条件を指定する場合	25
1.6 FineCut/Coat9でのプリセット登録	29
レイヤーごとに出力条件を指定する場合	29
カラーごとに出力条件を指定する場合	31
1.7 プリセットの適用	33

第2章 リプロット機能の保存と設定

2.1 概要	38
プリセット機能との使い分け	38
2.2 リプロット機能の保存と適用	39
初回の出力時	39
2回目以降の出力時	41

第3章 プロット前に出力設定を選択する

3.1 プロット前に出力設定を選択可能にする	46
3.2 プロット前に出力設定を選択する	47

第 4 章 プリセット用レイヤーの自動作成

4.1 レイヤーの自動作成	50
---------------------	----

第 5 章 お気に入りからのプリセット登録

5.1 概要.....	52
5.2 レイヤーごとに出力条件を指定する場合	53
5.3 カラーごとに出力条件を指定する場合.....	56

第 6 章 機能説明

6.1 プリセット・リプロット登録情報一覧.....	60
6.2 「プロッタ/ユーザー設定」画面	63
出力設定	63

第 7 章 こんなときは

7.1 リプロット機能やプリセットを別PCに移行したい	66
リプロット機能のエクスポートとインポート	67
プリセットのエクスポートとインポート	69
出力条件設定のエクスポートとインポート	72

はじめに

本書では、Mimaki製カッティングプロッターに添付のプラグインソフトウェアFineCut/Coatのプリセット・リプロット機能について説明します。FineCut/Coatの操作方法については、FineCut/Coat9 リファレンスガイドおよび関連マニュアルをご覧ください。

プリセット

本機能は、よく使う出力条件を登録し、簡単に選択・適用できる機能です。レイヤーごとに条件を設定した場合、デザインデータを振り分けるだけでスムーズにカット作業を行えます。複数の条件が登録可能なため、作業効率が大幅にアップします。

リプロット

本機能を有効にすると出力したときの設定が自動で保存されます。次に同じデータを出力するときは、その設定が自動で再設定されるため毎回設定する必要がありません。

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複製したりすることは固くお断りします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更などにより、仕様面において本書の記載事項が一部異なる場合があります。
- 本書に記載している株式会社ミマキエンジニアリング製ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行したりする以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してのメディア（ワーク）などの損失、メディアを使用して作成された物によって生じた、間接的な損失などの責任負担もしないものとします。

Adobe Illustratorは、Adobe Inc.の米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国ならびにその他の国での登録商標、または商標です。





その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

この説明書について

本文中の表記について

- 画面に表示されるボタンや項目は、[OK]、[ファイルを開く]のように[]で囲っています。

マークについて

内容		
	重要	「重要」マークは、本ツールをお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	ヒント	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。文字をクリックすると該当ページが表示されます。

本書および関連説明書の入手方法

本書および関連する説明書の最新版は、以下の方法で提供しています。

- 弊社公式サイト（<https://japan.mimaki.com/download/software.html>）

第1章 プリセットの登録と設定



この章では...

プリセットを使用した出力設定について説明します。

プリセットの概要.....	8	カラーの登録.....	14
プリセットに保存可能な設定	8	概要.....	14
プリセットの使用方法	8	カラー設定画面	15
ワークフロー	9	デザインデータからのカラー登録	16
[プリセット設定]からプリセットを登録する 場合.....	9	カラーの成分値でのカラー登録.....	18
FineCut/Coat9からプリセットを登録する場 合.....	9	プリセットの新規登録	21
レイヤーの登録	10	レイヤーごとに出力条件を指定する場合	21
概要.....	10	カラーごとに出力条件を指定する場合	25
レイヤー設定画面	11	FineCut/Coat9でのプリセット登録.....	29
レイヤー名の登録手順	12	レイヤーごとに出力条件を指定する場合	29
		カラーごとに出力条件を指定する場合	31
		プリセットの適用.....	33

1.1 プリセットの概要

プリセットは、出力設定を保存して再利用するための機能です。プリセットを活用すると、出力設定の入力作業を大幅に削減できます。

プリセットに保存可能な設定

プリセットには以下の設定が保存されます。

- 出力条件
- 「プロット」画面の設定
- 「プロッタ出力」画面の設定

本文中では、カットツールやカット条件を「出力条件」と表記します。

出力条件と「プロット画面」の設定、「プロッタ出力」画面の設定を含めた設定を「出力設定」と表記します。



- 出力設定に保存される設定の一覧は、6章「機能説明」の「プリセット・リプロット登録一覧」をご参照ください。

プリセットの使用方法

プリセットは大まかには以下の手順で使います。

1. デザインデータで使用する「レイヤー名」または「カラー」を事前に登録します。
2. 「レイヤー名」または「カラー」に関連付けて出力条件を入力し、レイアウトなどを含めた出力設定をプリセットに登録します。
3. デザインデータを出力する際に、プリセットを適用します。
 - データの「レイヤー名」または「カラー」に対してプリセットに登録した出力条件が適用されます。
 - プロット画面、プロッタ出力画面に出力設定が適用されます。

1.2 ワークフロー

[プリセット設定]からプリセットを登録する場合

1. [FineCut/Coat9] レイヤー/カラーの登録

- レイヤーごとに出力条件を指定する場合
 - ☞ 「レイヤー名の登録手順」 (P. 12)
 - ☞ 「5.2 レイヤーごとに出力条件を指定する場合」 (P. 53)
(フラットベッドタイプでお気に入り機能をご利用の場合)
- カラーごとに出力条件を指定する場合
 - ☞ 「デザインデータからのカラー登録」 (P. 16)
 - ☞ 「カラーの成分値でのカラー登録」 (P. 18)
 - ☞ 「5.3 カラーごとに出力条件を指定する場合」 (P. 56)
(フラットベッドタイプでお気に入り機能をご利用の場合)

2. [FineCut/Coat9] プリセットの設定

- ☞ 「1.5 プリセットの新規登録」 (P. 21)

3. [デザインソフト] デザインデータの作成

- レイヤーごとに出力条件を指定する場合
 - ☞ 「4 プリセット用レイヤーの自動作成」 (P. 49)

4. [FineCut/Coat9] プロットする

- ☞ 「1.7 プリセットの適用」 (P. 33)
- ☞ 「3 プロット前に出力設定を選択する」 (P. 45)

FineCut/Coat9からプリセットを登録する場合

1. [FineCut/Coat9] 出力設定の設定

- プロット画面、プロット出力画面で出力設定します。
詳細はFineCut/Coat9リファレンスガイドを参照してください。

2. [FineCut/Coat9] プリセットの設定

- ☞ 「1.6 FineCut/Coat9でのプリセット登録」 (P. 29)

3. [FineCut/Coat9] プロットする

- ☞ 「1.7 プリセットの適用」 (P. 33)
- ☞ 「3 プロット前に出力設定を選択する」 (P. 45)

1.3 レイヤーの登録

デザインデータのレイヤーに対して、出力条件を指定するための設定をします。レイヤーでプロット対象を管理する場合に推奨される方法です。

概要


レイヤーごとに出力条件を指定するプリセットを指定するため、事前にレイヤー名を登録します。カット対象としたいレイヤー名を事前に登録することを「レイヤー設定」と呼びます。

重要!

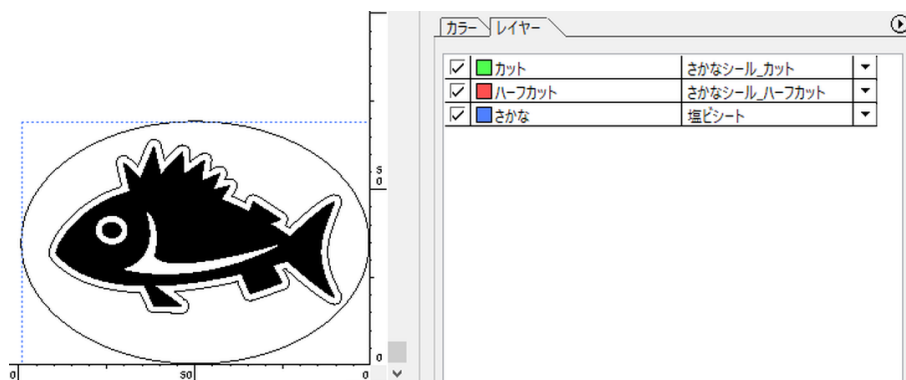
- デザインデータで共通に使用するレイヤー名を登録してください。レイヤー設定で登録したレイヤー名は、全てのプリセットで使用します。
- デザインデータのレイヤー名がレイヤー設定のレイヤー名と異なるとプリセットが自動適用されません。レイヤー設定に登録されていないレイヤー名はカット対象外になります。



FineCut/Coatで「お気に入り」機能をご利用されている場合

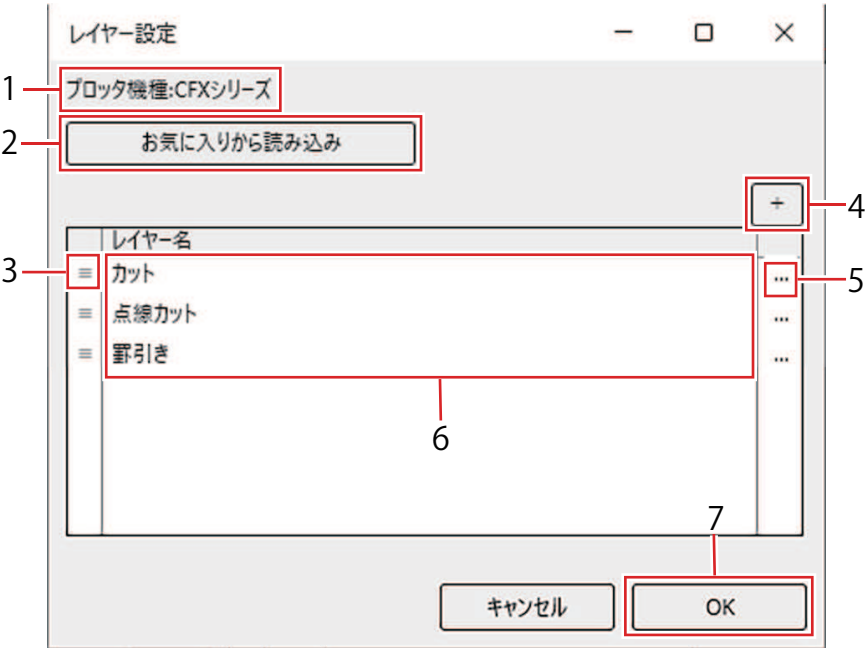
- 登録済みの「お気に入り」の情報を読み込むことで、レイヤー設定の手順を簡略化できます。
-  「レイヤーごとに出力条件を指定する場合」(P. 53) にお進みください。



● レイヤーに対して出力条件を適用する例



レイヤー設定画面

[レイヤー設定]画面でレイヤー名を登録します。



1	機種名	現在FineCut/Coatで選択されている機種名を表示します。
2	お気に入りから読み込み	FineCut/Coatの[お気に入り]からレイヤー名を読み込みます。 • [お気に入り]機能については、FineCut/Coat9リファレンスガイドを参照してください。
3	列移動	[レイヤー一覧]に表示されているレイヤー名の順番を変更します。
4	 ボタン	新しいレイヤー名を登録します。
5	 列	レイヤー名ごとのサブメニューを表示します。
	編集	レイヤー名を変更できます。
	削除	レイヤー名の登録を削除します。 このレイヤーを出力するレイヤーに設定しているプリセットはレイヤーと同時に削除されるためご注意ください。
6	レイヤー名	レイヤー名を表示します。
7	OK	設定を保存して画面を閉じます。

レイヤー名の登録手順

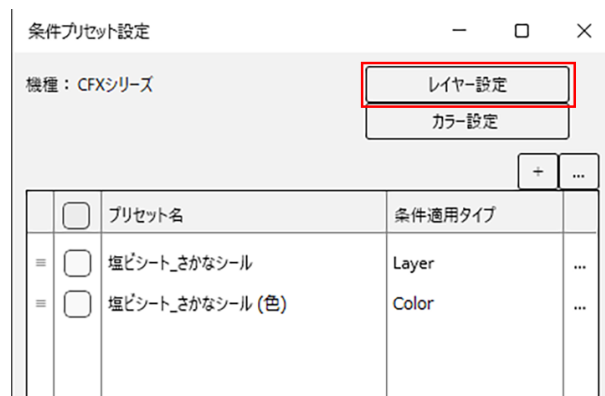
レイヤー名を入力して登録します。

- 重要!**
- プロット対象となりうるレイヤーのレイヤー名は、すべて登録することをおすすめします。
 - レイヤー名は、すべてのデザインデータで共通に使用してください。

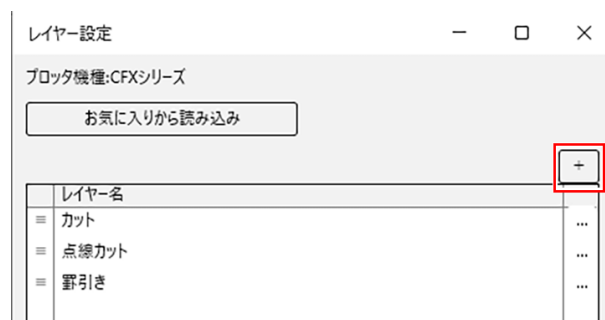
1 FineCut/Coatメニューの[プリセット設定]ボタンをクリックします。



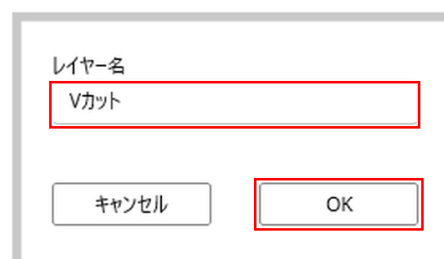
2 [レイヤー設定]をクリックします。



3  ボタンをクリックします。



4 レイヤー名を入力して、[OK]をクリックします。



- すでに登録済みのレイヤー名は使用できません。

- 5 必要なレイヤーすべてを登録完了するまで、手順3~4を繰り返します。
- 6 [レイヤー設定]画面で[OK]をクリックします。



- レイヤー設定の表示順が、プリセット作成時のカット順の基準になります。
- ここでレイヤーのカット順を設定しておく则プリセット設定時のカット順設定が容易になります。

1.4 カラーの登録

デザインデータのカラーに対して、出力条件を指定するための設定をします。色でプロット対象を管理する場合に推奨される方法です。

概要

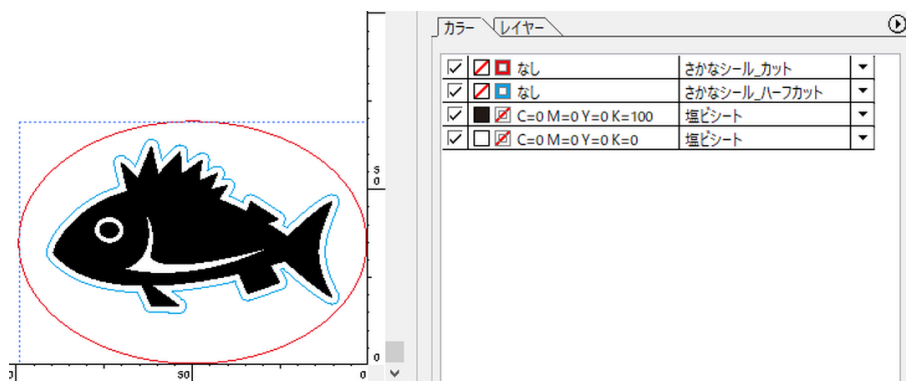
カラーごとに出力条件を指定するプリセットを指定するため、事前にカラーを登録します。カット対象としたいカラーを事前に登録することを「カラー設定」と呼びます。



FineCut/Coatで「お気に入り」機能をご利用されている場合

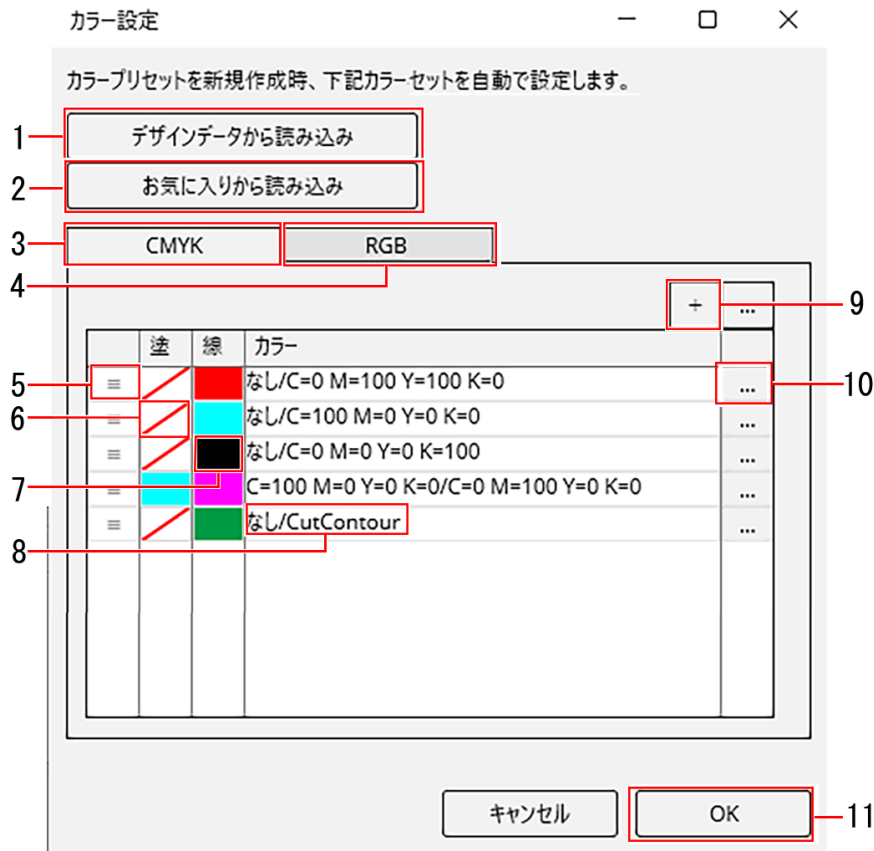
- 登録済みの「お気に入り」の情報を読み込むことで、カラー設定の手順を簡略化できます。
- 「カラーごとに出力条件を指定する場合」(P. 56) にお進みください。



● カラーに対して出力条件を適用する例



カラー設定画面

[カラー設定]画面でカラーを登録します。



1	デザインデータから読み込み	現在開いているデザインデータからカラーを読み込みます。
2	お気に入りから読み込み	FineCut/Coatの[お気に入り]からカラーを読み込みます。 ・ [お気に入り]機能については、FineCut/Coat9リファレンスガイドを参照してください。
3	CMYKタブ	CMYK値で登録されたカラーを表示します。
4	RGBタブ	RGB値で登録されたカラーを表示します。
5	列移動	表示されているカラーの順番を変更します。
6	塗り色	塗りの色を表示します。
7	線色	線の色を表示します。
8	カラー	カラーを数値で表示します。塗り色/線色の順に表示されます。 特色名が設定されている場合は特色名を表示します。
9	 ボタン	新しいカラーを登録します。
10	 列	カラーごとのサブメニューを表示します。
	カラー編集	カラーの塗り色と線色を変更できます。
	カラー削除	カラーを削除します。
11	OK	設定を保存して画面を閉じます。

デザインデータからのカラー登録

デザインデータからカラーを登録します。

- 重要!**
- プロット対象となりうるカラーは、すべて登録することをおすすめします。
 - カラーは、すべてのデザインデータで共通に使用してください。

1 デザインデータを開きます。

2 FineCut/Coatメニューの[プリセット設定]ボタンをクリックします。

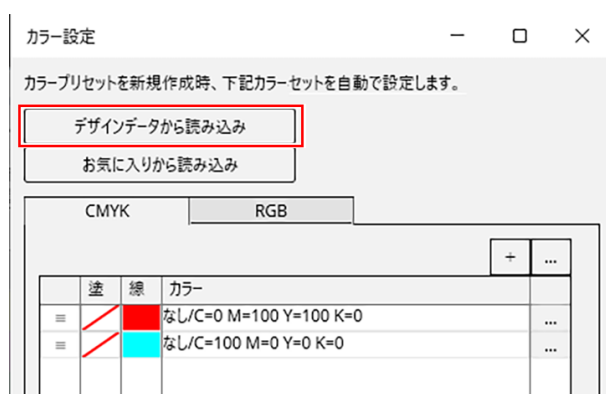


3 [カラー設定]をクリックします。



4 [デザインデータから読み込み]をクリックします。

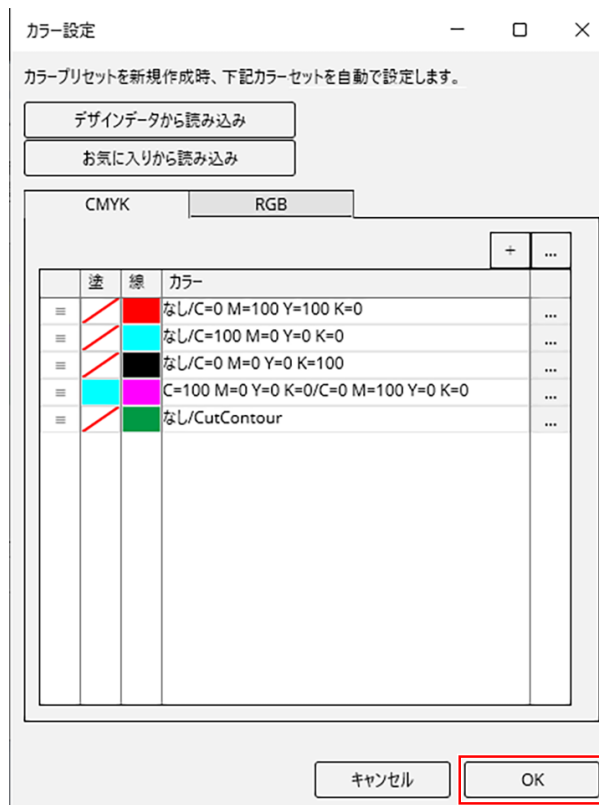
- デザインデータで使用している色をリストに表示します。



5 読み込みたいカラーのチェックボックスをオンにして、[追加]をクリックします。



6 [カラー設定]画面で[OK]をクリックします。



カラーの成分値でのカラー登録

CMYK値またはRGB値を入力してカラーを登録します。

- 1 FineCut/Coatメニューの[プリセット設定]をクリックします。



- 2 [カラー設定]をクリックします。



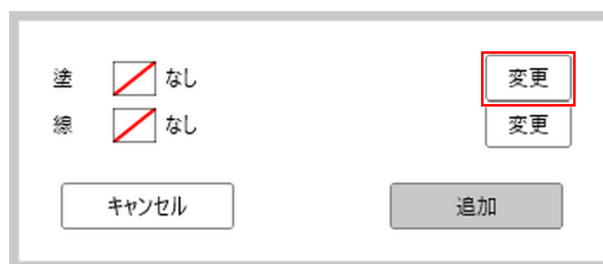
- 3 [CMYK]タブまたは[RGB]タブをクリックします。



4 ボタンをクリックします。



5 [変更]をクリックします。




6 カラーの値を設定します。


- リストから基本の8色またはCutCoutourが選択できます。
- カスタムを選択すると数値入力で色を指定することができます。
数値入力した色に特色名を設定することも可能です。



7 [追加]をクリックします。

- すでに登録されている色や無効な色（塗りと線の両方が[なし]）は登録できません。

塗り  C=0 M=0 Y=100 K=0 変更

線  なし 変更

キャンセル 追加

8 [カラー設定]画面で[OK]をクリックします。













カラー設定

カラープリセットを新規作成時、下記カラーセットを自動で設定します。

デザインデータから読み込み

お気に入りから読み込み

CMYK RGB

	塗り	線	カラー	
≡			なし/C=0 M=100 Y=100 K=0	...
≡			なし/C=100 M=0 Y=0 K=0	...
≡			なし/C=0 M=0 Y=0 K=100	...
≡			C=100 M=0 Y=0 K=0/C=0 M=100 Y=0 K=0	...
≡			なし/CutContour	...
≡			C=0 M=0 Y=100 K=0/なし	...

キャンセル OK

1.5 プリセットの新規登録

[プリセット設定]から出力設定を設定し、新規にプリセットを登録します。

重要! ・ レイヤー設定やカラー設定の登録を事前に行ってください。

レイヤーごとに出力条件を指定する場合

レイヤーへ出力条件を適用する際の新規プリセット登録手順を説明します。

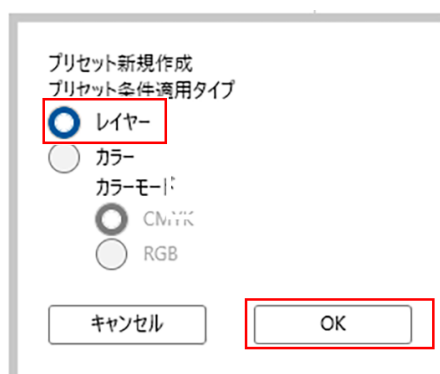
- 1 FineCut/Coatメニューの[プリセット設定]をクリックします。



- 2  ボタンをクリックします。



- 3 [レイヤー]のチェックボックスをオンにして、[OK]をクリックします。



4 [セット条件]で[ツール]または[出力条件]をオンにします。



1	レイヤー別に条件指定する		ONの時、出力のON/OFF状態、出力順、セット条件を保存します。
2	セット条件	ツール	レイヤーごとにツールが選択できます。
		出力条件	レイヤーごとに出力条件が選択できます。
		設定しない	レイヤーごとにツール/出力条件を設定しません。
3	レイヤー一覧設定		[レイヤー設定]を表示します。 ・レイヤーの削除は行えません。

5 [出力順]、[出力]するレイヤーのオン/オフ、[ツール]（または[出力条件]）を設定します。



1	移動	ドラッグして出力順を入れ替えます。
2	出力順	出力される順番を表示します。
3	出力	出力したいレイヤー名のチェックボックスをオンにします。
4	レイヤー名	レイヤーの名前を表示します。
5	ツール/出力条件	クリックして、リストからツールまたは出力条件を選択します。
6	... 列	「出力条件を見る」を表示します。 クリックすると出力条件の設定一覧を簡易表示します。

6 [レイアウト設定]、[トンボ設定]、[出力設定]の各設定を入力して、[OK]をクリックします。

- 設定項目の詳細は「FineCut/Coat9 リファレンスガイド」の7章「機能説明」の「[プロット]画面」および「[プロッタ出力]画面」をご参照ください。
- [レイアウト設定]、[トンボ設定]、[出力設定]を適用しない場合は、[カット条件設定を行う]をオフにしてください。

☑ カット条件設定を行う

レイアウト設定▲

回転 ミラー

原点ロック

センターマーク サイズ 10

コーナーマーク

枠

オフセット 0 10

倍率 100

コピー 1 10

コピー間隔 10

トンボ設定▼

出力設定▲

ソート

全て

カラー/レイヤー別

カット開始位置を変更する

外側を製品にする

出力前バキュームON

出力後バキュームOFF

カット終了後のヘッド回避

現在の原点

現在の原点

カット開始位置の最適化

カット方向の最適化

エッジ検出

検出コーナー 右下

検出方法

キャンセル OK

7 プリセット名を入力して[OK]をクリックします。

プリセット名

塩ビシート_花

キャンセル OK

8 [OK]をクリックします。

条件プリセット設定

機種：CFXシリーズ

レイヤー設定
カラー設定

+ ...

	<input type="checkbox"/>	プリセット名	条件適用タイプ	
≡	<input type="checkbox"/>	塩ビシート_さかなシール	Layer	...
≡	<input type="checkbox"/>	塩ビシート_さかなシール (色)	Color	...
≡	<input type="checkbox"/>	塩ビシート_花	Layer	...

OK

カラーごとに出力条件を指定する場合

カラーに出力条件を適用する際の新規プリセット登録手順を説明します。

- 1 FineCut/Coatメニューの[プリセット設定]をクリックします。



- 2  ボタンをクリックします。

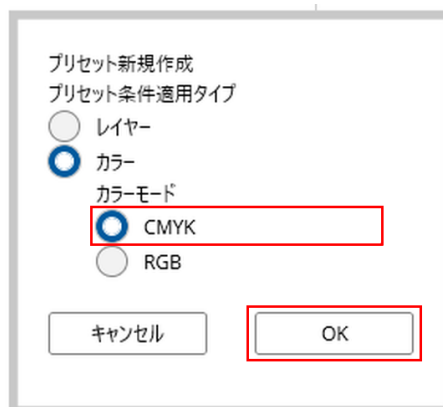
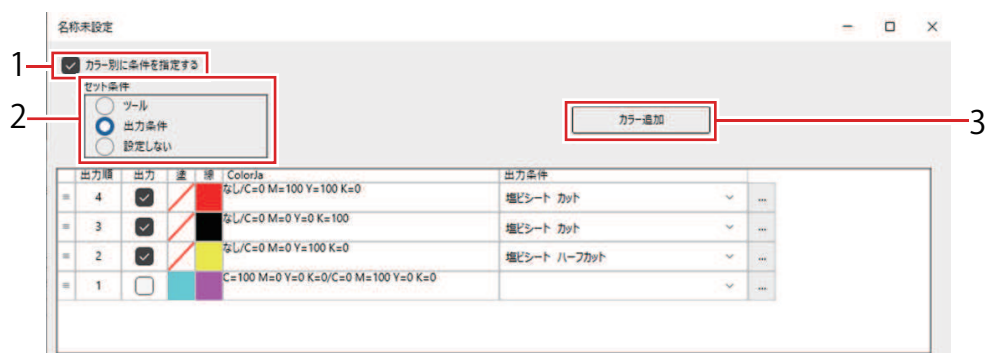


- 3 [カラー]のチェックボックスをオンにします。



4 カラーモード[CMYK]または[RGB]を選択して、[OK]をクリックします。

- [CMYK]：CMYK値のカラーでプリセットを登録します。
- [RGB]：RGB値のカラーでプリセットを登録します。

**5** [セット条件]で[ツール]または[出力条件]をオンにします。

1	カラー別に条件指定する	ONの時、出力のON/OFF状態、出力順、セット条件を保存します。	
2	セット条件	ツール	カラーごとにツールが選択できます。
		出力条件	カラーごとに出力条件が選択できます。
		設定しない	カラーごとにツール/出力条件を設定しません。
3	カラー追加	[カラー編集]ポップアップを表示します。	

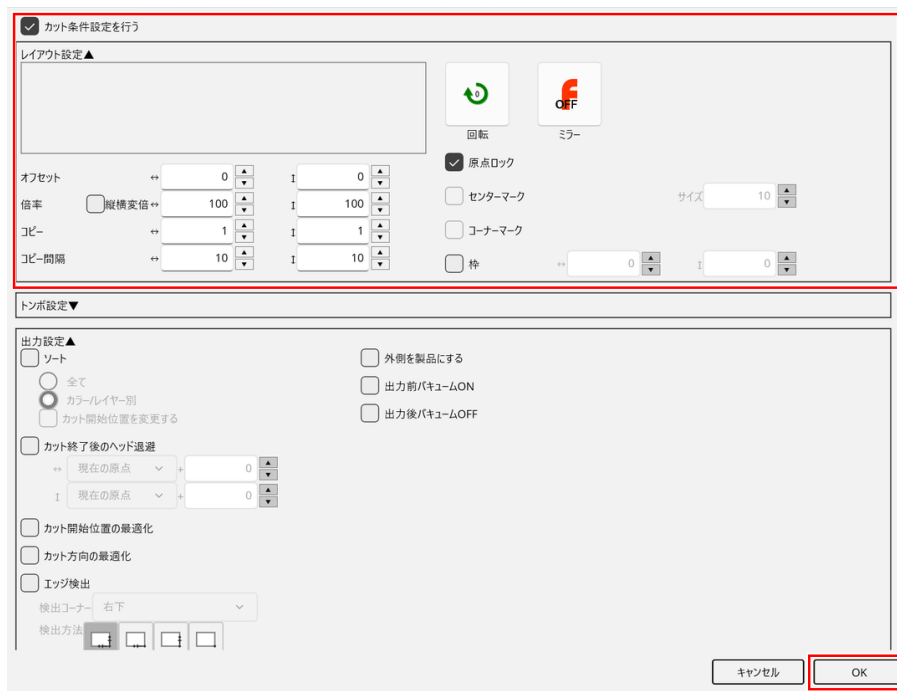
6 [出力順]、[出力]するカラーのオン/オフ、[ツール]（または[出力条件]）を設定します。



1	移動	ドラッグして出力順を入れ替えます。
2	出力順	出力される順番を表示します。
3	出力	出力したいカラーのチェックボックスをオンにします。
4	塗	塗りの色を表示します。
5	線	線の色を表示します。
6	カラー名	カラーを数値で表示します。塗り色/線色の順に表示されます。 特色名が設定されている場合は特色名を表示します。
7	ツール/出力条件	クリックして、リストからツールまたは出力条件を選択します。
8	列	[カラー追加]、[カラー編集]、[カラー削除]、[出力条件を見る]を表示します。

7 [レイアウト設定]、[トンボ設定]、[出力設定]の各設定を入力して、[OK]をクリックします。

- 設定項目の詳細は「FineCut/Coat9 リファレンスガイド」の7章「機能説明」の「[プロット]画面」および「[プロッタ出力]画面」をご参照ください。
- [レイアウト設定]、[トンボ設定]、[出力設定]を適用しない場合は、[カット条件設定を行う]をオフにしてください。



8 プリセット名を入力して[OK]をクリックします。

プリセット名
塩ビシート_花 (色)

キャンセル OK

9 [OK]をクリックします。

条件プリセット設定

機種: CFXシリーズ

レイヤー設定
カラー設定

	プリセット名	条件適用タイプ	
≡	<input type="checkbox"/> 塩ビシート_さかなシール	Layer	...
≡	<input type="checkbox"/> 塩ビシート_さかなシール (色)	Color	...
≡	<input type="checkbox"/> 塩ビシート_花	Layer	...
≡	<input type="checkbox"/> 塩ビシート_花 (色)	Color	...

OK

1.6 FineCut/Coat9でのプリセット登録

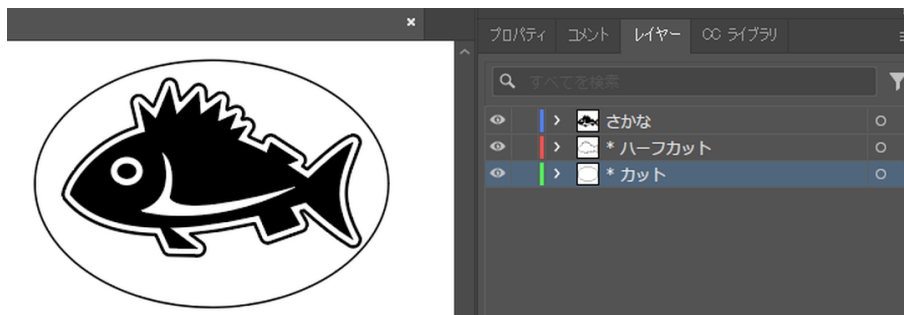
FineCut/Coat9のプロット出力時にプリセットを登録します。
プロット出力時に出力設定をプリセットとして保存したい場合などに便利です。
レイヤー/カラーごとに設定した出力条件やその他FineCutの出力設定をプリセットとして登録します。

レイヤーごとに出力条件を指定する場合

● レイヤーを分けてデータを作成する場合

レイヤーを分けてデータを作成する場合に、[プロッタ出力]画面で新規プリセットを登録する方法を説明します。

1 出力条件ごとにレイヤーを用意し、オブジェクトを振り分けます。



2 FineCut/Coatメニューの[プロット]ボタンをクリックします。

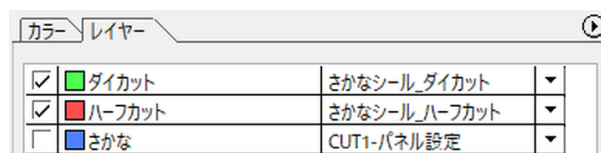


3 レイヤータブを表示し、🕒をクリックします。


- ・ ツール指定する場合：レイヤー別にツールを指定
- ・ 出力条件を指定する場合：レイヤー別に出力条件を指定



4 レイヤーごとにツールまたは出力条件を設定します。



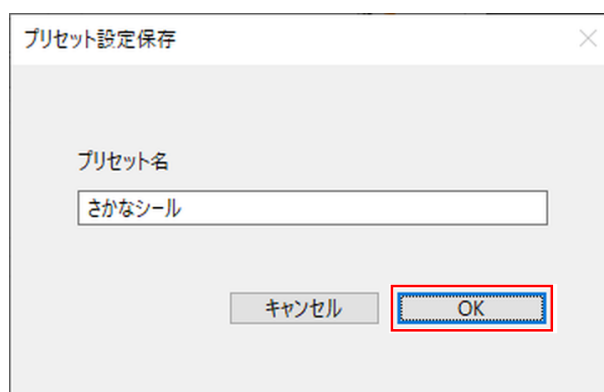
5 プロット画面、プロット出力画面の項目を設定します。

- 登録できるプロット画面とプロット出力画面の設定は、以下をご参照ください。
 「[プリセット・リプロット登録情報一覧](#)」 (P. 60)

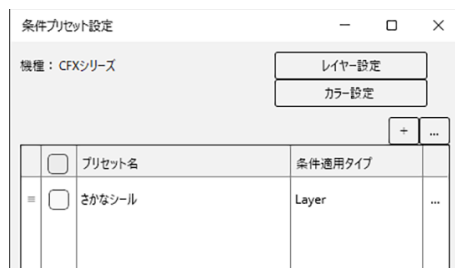
6 [プリセット設定保存]をクリックします。



7 プリセット名を入力し[OK]をクリックします。



- 入力した名称で、条件プリセット設定に登録されます。

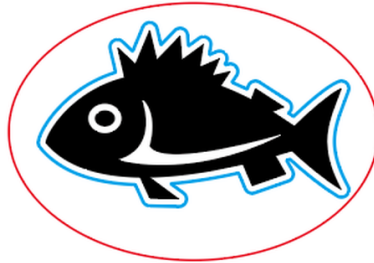


カラーごとに出力条件を指定する場合

● 色を変えてデータを作成する場合

色を変えてデータを作成する場合に、[プロット出力]画面で新規プリセットを登録する方法を説明します。

1 出力条件ごとにオブジェクトのカラーを設定します。

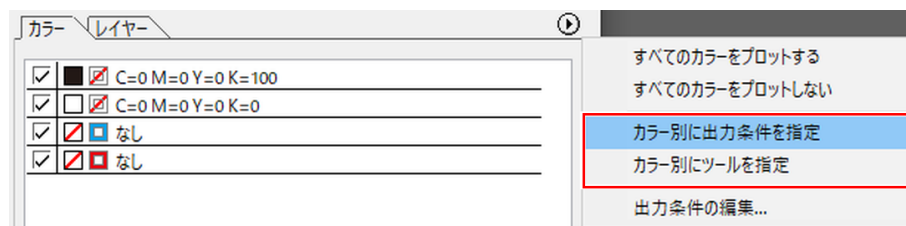


2 FineCut/Coatメニューの[プロット]ボタンをクリックします。

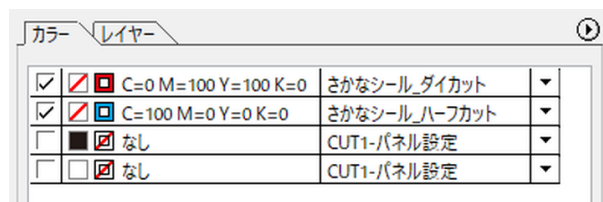


3 カラータブを表示し、🔍をクリックします。

- ・ ツール指定する場合：カラー別にツールを指定
- ・ 出力条件を指定する場合：カラー別に出力条件を指定



4 カラーごとにツールまたは出力条件を設定します。



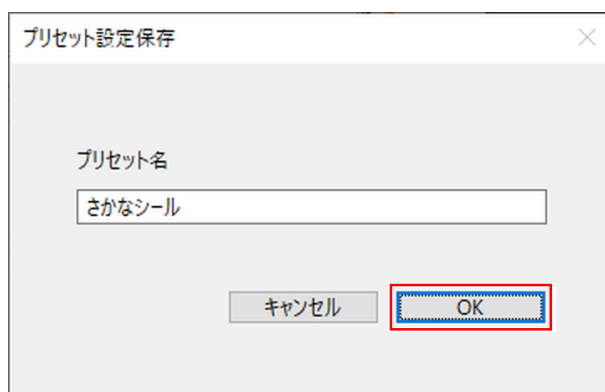
5 プロット画面、プロット出力画面の項目を設定します。

- ・ 登録できるプロット画面とプロット出力画面の設定は、以下をご参照ください。
📄 「プリセット・リプロット登録情報一覧」 (P. 60)

6 [プリセット設定保存]をクリックします。



7 プリセット名を入力し[OK]をクリックします。



- 入力した名称で、条件プリセット設定に登録されます。

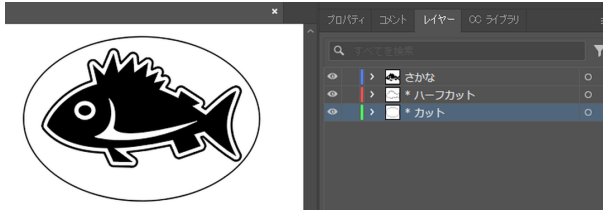


1.7 プリセットの適用

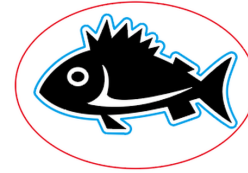
プロット時にプリセットを適用する方法を説明します。

1 デザインデータを開きます。

- ・レイヤーでプロット対象を管理する場合は、プロット対象ごとにレイヤーを振り分けたデータを使用します。
- ・カラーでプロット対象を管理する場合は、プロット対象ごとにカラーを振り分けたデータを使用します。



レイヤーで設定する場合



カラーで設定する場合

2 FineCut/Coatメニューの[プロット]ボタンをクリックします。

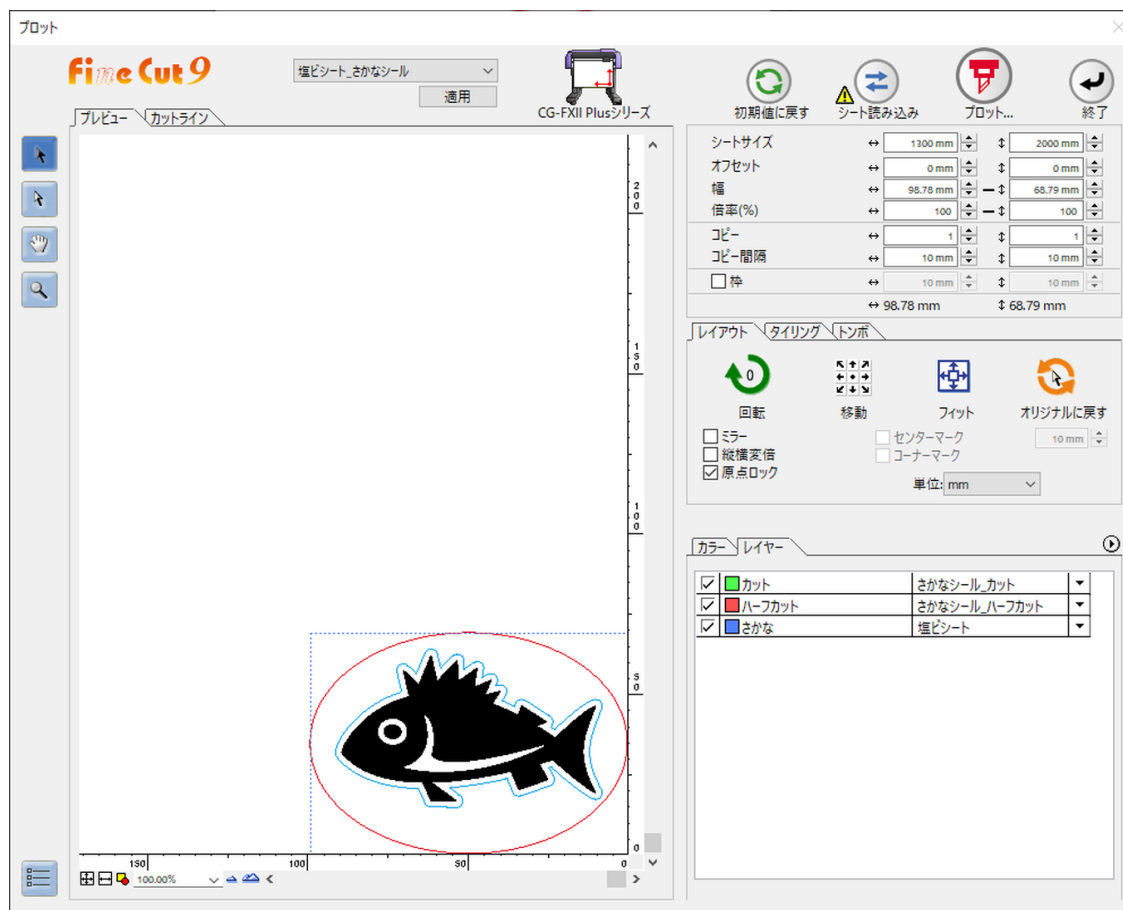


3 プリセットを選択して、[適用]をクリックします。

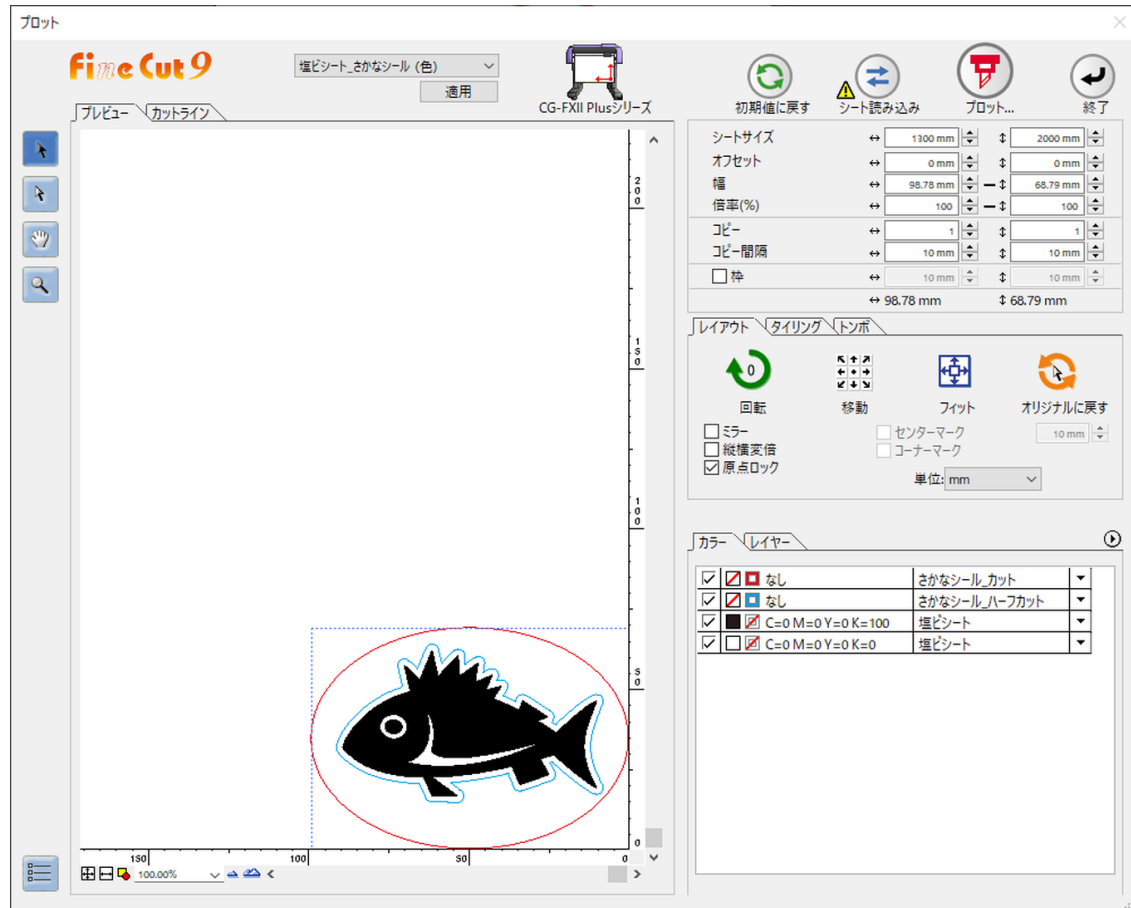


- プリセットに保存された出力設定が反映されます。

レイヤーで設定する場合



カラーで設定する場合



第2章 リプロット機能の保存と設定



この章では...

リプロット機能の保存と設定について説明します。

概要	38	リプロット機能の保存と適用	39
プリセット機能との使い分け	38	初回の出力時	39
		2回目以降の出力時	41

2.1 概要

リプロット機能は、デザインデータごとに出力設定を関連付けて保存し、再利用するための機能です。同じデータを同じ出力設定で再出力したいときに、作業効率が向上します。

プリセット機能との使い分け

プリセット機能はプロットの前に選択する必要があるため、用途ごとに多くのプリセットを作成すると「データとプリセットの対応関係」や「出力設定の内容」で選択に迷う可能性があります。

一方、リプロット機能では一度出力したデザインデータの出力設定が自動的に再適用されるため、選択に迷うことなくプロットできます。

プリセットとリプロット機能は以下のように使い分けることをおすすめします。

- プリセット：基本となる出力設定を保存
- リプロット機能：デザインデータと関連付けて出力設定を保存

2.2 リプロット機能の保存と適用

重要!

- リプロット機能の適用は、少なくとも一度は出力したデザインデータが対象になります。一度も出力されていないデザインデータはリプロット機能で出力設定が自動適用されません。

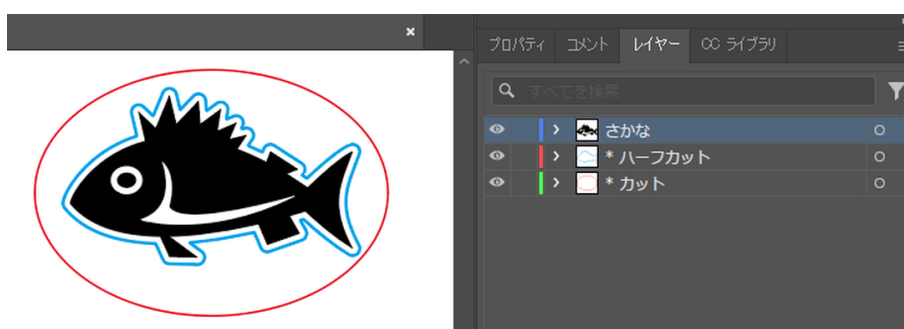
初回の出力時

リプロット機能は初期設定でオンになっているため、通常の出力手順を行うだけで出力設定が保存されます。



- リプロット機能の初期設定は、 「プリセット・リプロット登録情報一覧」(P. 60) をご参照ください。

1 デザインデータを開きます。



2 FineCutメニューの[プロット]ボタンをクリックします。




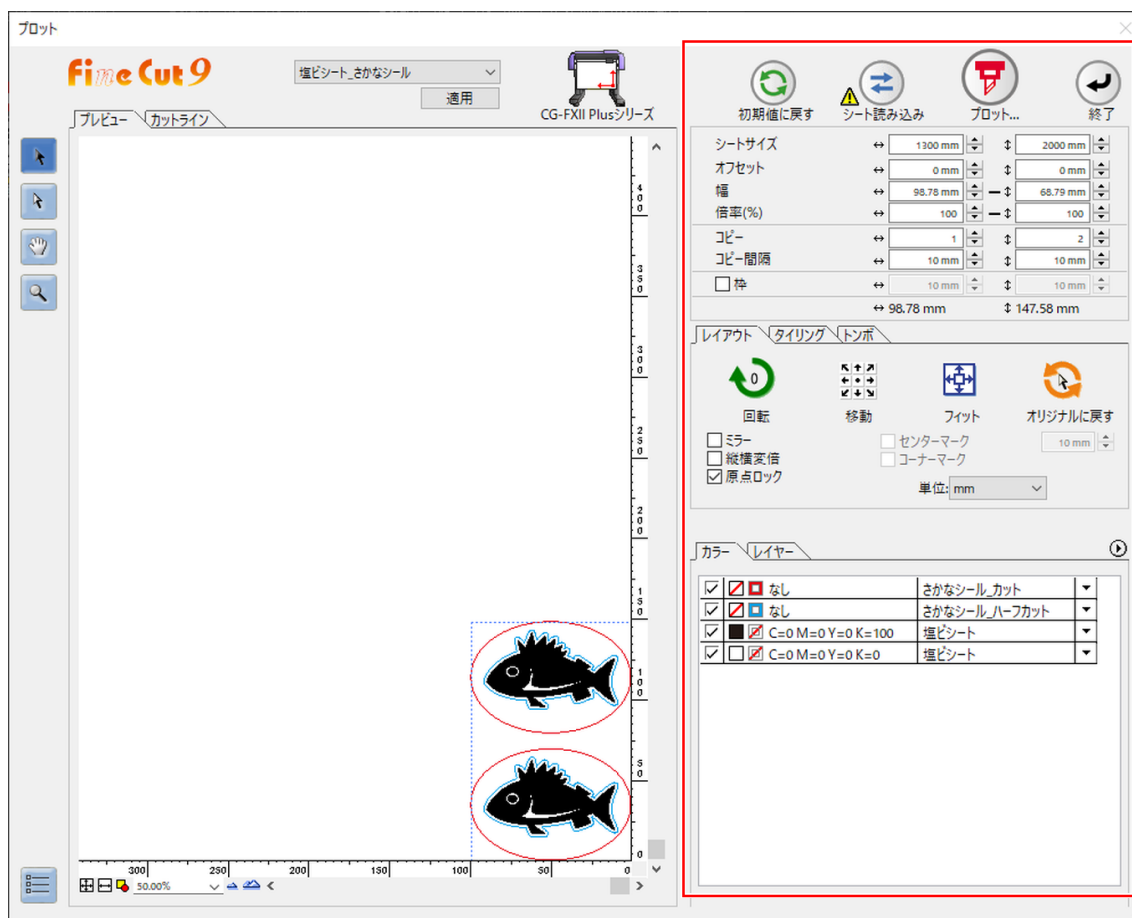
3 プリセットを選択して、[適用]ボタンをクリックします。（登録済みのプリセットを用いる場合）

- プリセットに保存された出力設定が反映されます。
- 登録済みのプリセットを使用しない場合は、次の手順に進みます。



4 出力設定を入力します。


- 登録できるプロット画面の設定は、以下をご参照ください。
 「プリセット・リプロット登録情報一覧」 (P. 60)

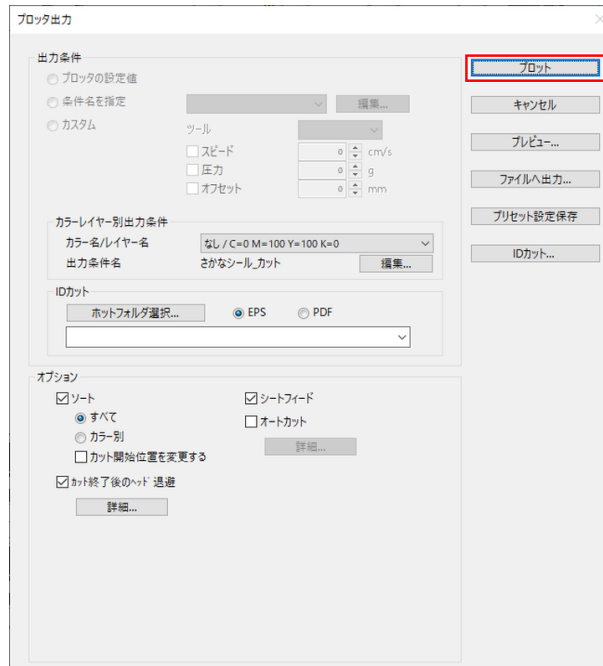


5 (プロットボタン) をクリックします。



6 出力設定を入力して、[プロット]ボタンをクリックします。

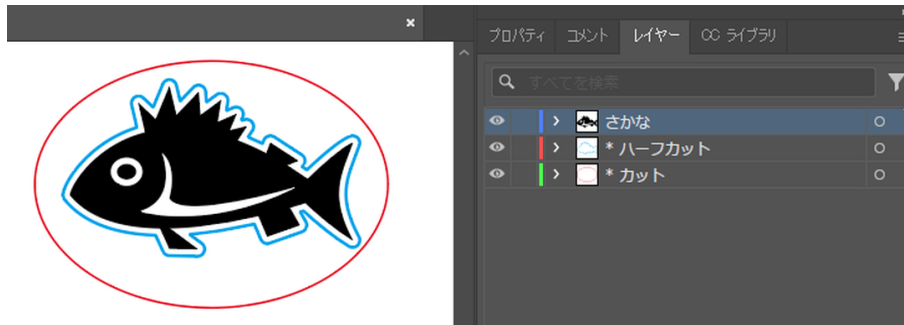
- 登録できるプロット出力画面の設定は、以下をご参照ください。
 「プリセット・リプロット登録情報一覧」(P. 60)
- プロット出力時の出力設定が保存されます。



2回目以降の出力時

1 デザインデータを開きます。

- 初回の出力時と同じデザインデータを開いてください。

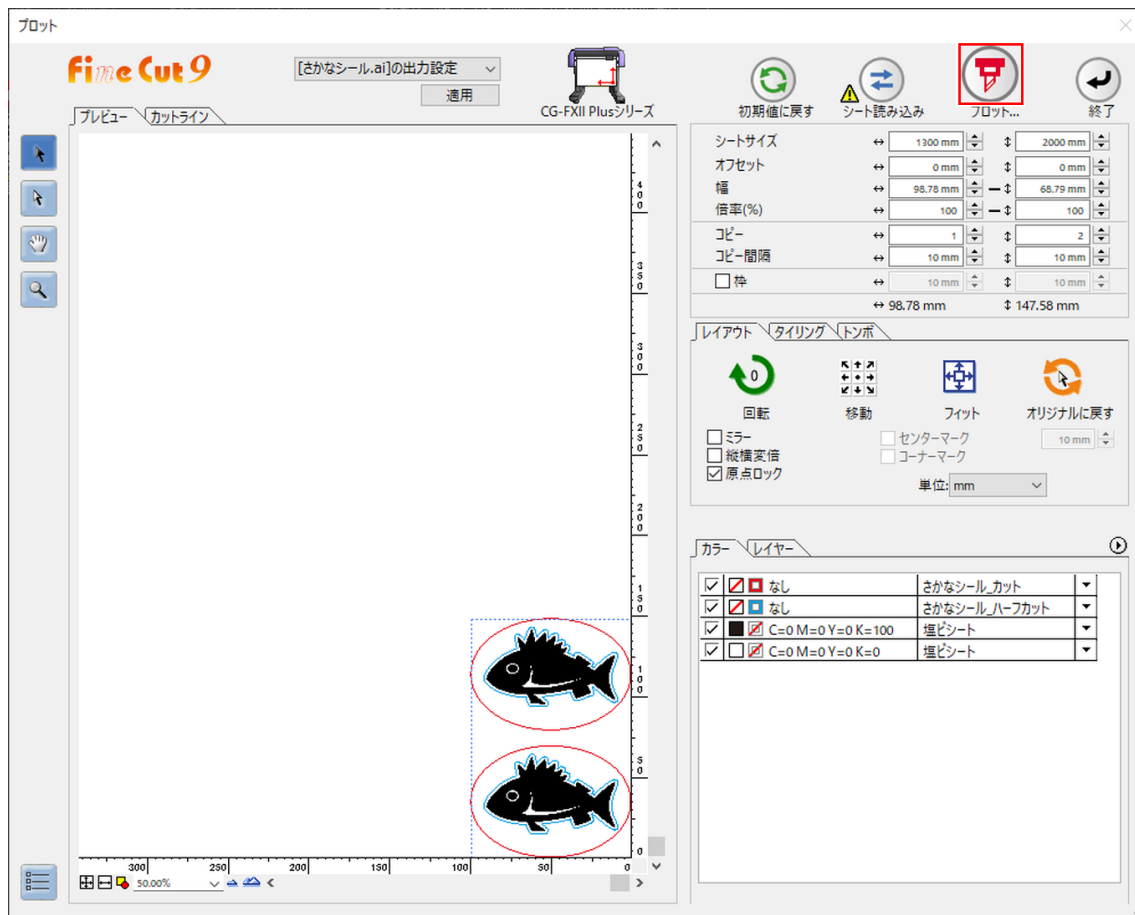


2 FineCutメニューの[プロット]ボタンをクリックします。



3 (プロットボタン) をクリックします。

- 前回の出力設定が自動で反映されています。



- リプロット機能の名前がプリセット名の表示エリアに表示されます。



4 [プロット]ボタンをクリックします。

- 前回の出力設定が自動で反映されています。



重要!

- リプロット機能は999ファイルまで保存可能です。上限を超えると、古いファイルから削除されますのでご注意ください。
- 必要に応じて、エクスポートしていただくことをおすすめします。

第3章 プロット前に出力設定を選択する



この章では...

プロット前に「第1章 プリセットの登録と設定」でプリセットとして登録した出力設定を選択するための事前設定、手順について説明します。

3.1 プロット前に出力設定を選択可能にする

プロット前に出力設定を選択するためには、[プロッタ/ユーザー設定]の設定を変更する必要があります。以下の手順に沿って、設定を行ってください。

- 1 FineCut/Coatメニューの[プロッタ/ユーザー設定]ボタンをクリックします。



- 2 [出力設定]タブの[プロット前に必ず出力設定を選択する]をオンにして、[OK]をクリックします。



3.2 プロット前に出力設定を選択する



- プロット前に出力設定を選択するには、事前に[プロッタ/ユーザー設定]で機能をオンにする必要があります。
- 「[プロット前に出力設定を選択可能にする](#)」(P. 46)
- プリセットとリプロット機能で保存した出力設定が選択できます。

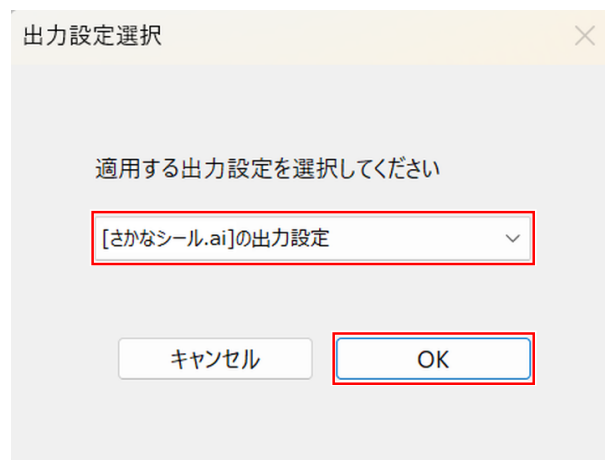
1 デザインデータを開きます。

2 FineCutメニューの[プロット]ボタンをクリックします。



3 プリセット（またはリプロット機能で保存した出力設定）を選択して、[適用する]をクリックします。

- 選択した出力設定が適用された状態で[プロット]画面が開きます。



第4章 プリセット用レイヤーの自動作成



この章では...

「第1章 プリセットの登録と設定」で登録したレイヤーをデザイン上に自動作成する手順を説明します。
デザインデータごとにレイヤー作成する手間を省いて、各レイヤーヘデータを振り分けることができます。

4.1 レイヤーの自動作成

- 1 デザインデータを作成します。
- 2 FineCut/Coatメニューの[レイヤー作成]ボタンをクリックします。
 - ・ レイヤー設定 (☞ 「レイヤーの登録」 (P. 10)) に登録したレイヤーが追加されます。



- ・ 先にレイヤーを追加してからデザインデータを作成することもできます。

- 3 追加されたレイヤーに、デザインデータのオブジェクトを割り振ります。
 - ・ レイヤーに適用される出力条件に合うようにデザインデータを割り振ってください。



第 5 章 お気に入りからのプリセット登録



この章では...

FineCut/Coatの「お気に入り」からのプリセット登録について説明します。
FineCut/Coatで既に「お気に入り」を登録している場合、お気に入り登録した出力設定を引き継ぐことができます。

概要	52	カラーごとに出力条件を指定する場合	56
レイヤーごとに出力条件を指定する場合	53		

5.1 概要

FineCut/Coatでレイヤー別にツールまたはカット条件を指定した情報および、カラー別にツールまたはカット条件を指定した情報を保存する機能として「お気に入り」機能があります。

「お気に入り」をご利用いただいている場合、保存されている情報からレイヤー設定およびカラー設定を登録することが可能です。

お気に入りからの読み込みを利用することで、プリセットを作成するための事前準備を簡略化することができます。

「お気に入り」機能、および対応機種の詳細はFineCut/Coat9リファレンスガイドをご参照ください。

5.2 レイヤーごとに出力条件を指定する場合

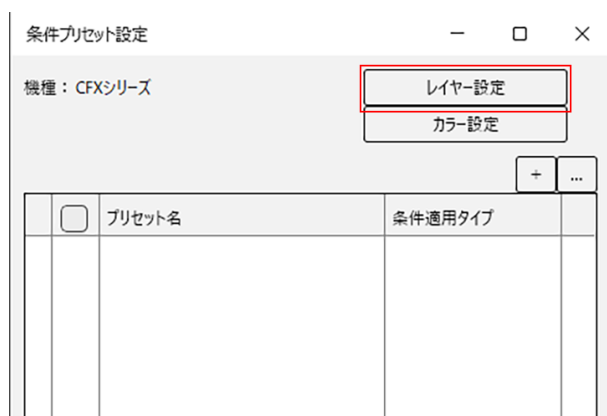
- 重要!** ・ 本機能は、お気に入りの登録されている場合に適用することができます。
お気に入りの登録方法については、FineCut/Coat9リファレンスガイドを参照してください。

1 FineCut/Coatメニューの[プリセット設定]ボタンをクリックします。

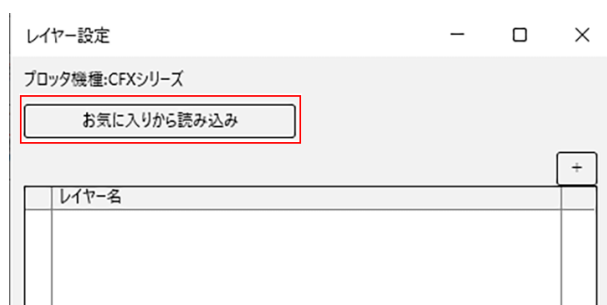


2 [レイヤー設定]をクリックします。

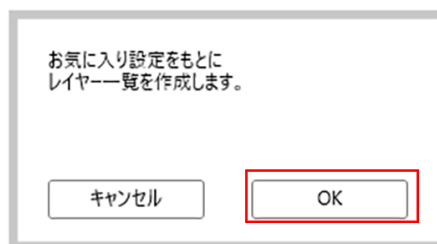
- 重要!** ・ [条件適用タイプ]がレイヤーのプリセットが登録済みの場合、お気に入りのインポートは行えません。
対応方法はプリセット作成後にレイヤー設定のお気に入りを読み込みたいをご参照ください。



3 [お気に入りから読み込み]をクリックします。

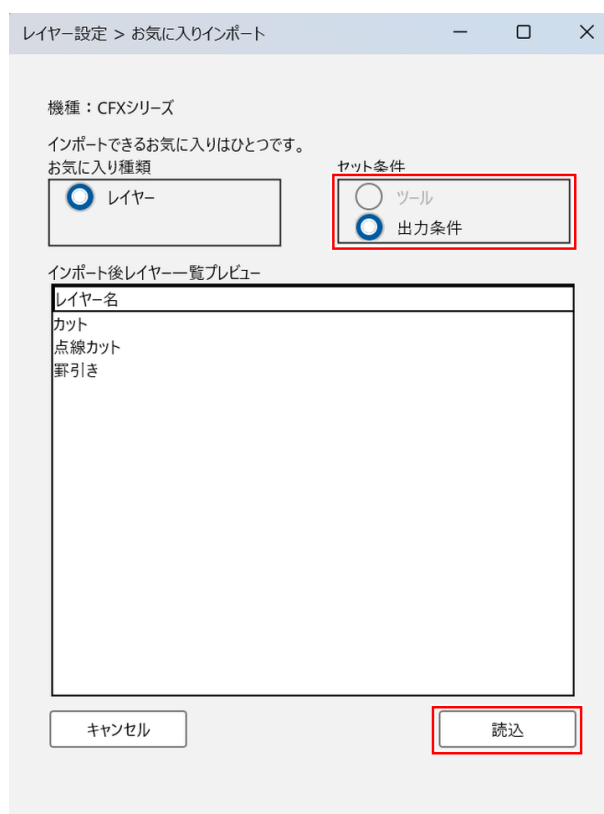


4 [OK]をクリックします。



5 [セット条件]で[ツール]か[出力条件]を選択して、[読込]をクリックします。

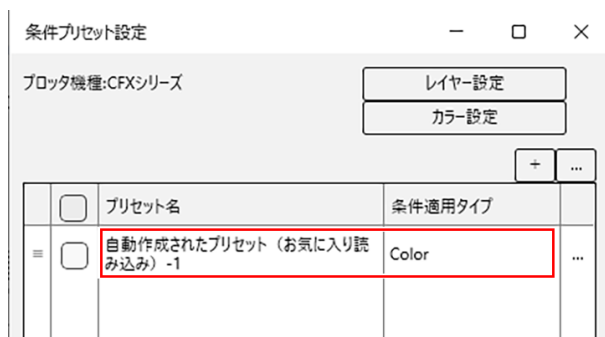
- [ツール]：レイヤー別ツール指定のお気に入り設定から読み込みます。
- [出力条件]：レイヤー別出力条件のお気に入り設定から読み込みます。
- [読込]をクリックすると、[レイヤー設定]画面（手順3の画面）にレイヤーが読み込まれます。



6 (レイヤー設定画面の)[OK]をクリックします。



- 条件プリセット設定にお気に入りから読み込んだ情報でプリセットが登録されます。
- プリセットには出力条件のみが反映されています。
- [レイアウト設定]、[トンボ設定]、[出力設定]は[編集]からプリセット編集画面を表示して設定してください。



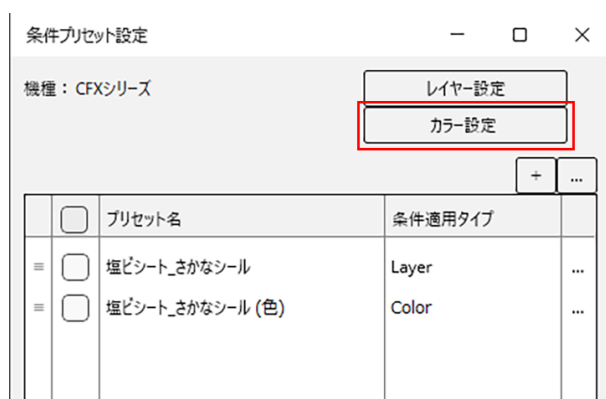
5.3 カラーごとに出力条件を指定する場合

重要! • 本機能は、お気に入り登録されている場合に適用することができます。
お気に入りの登録方法については、FineCut/Coat9リファレンスガイドを参照してください。

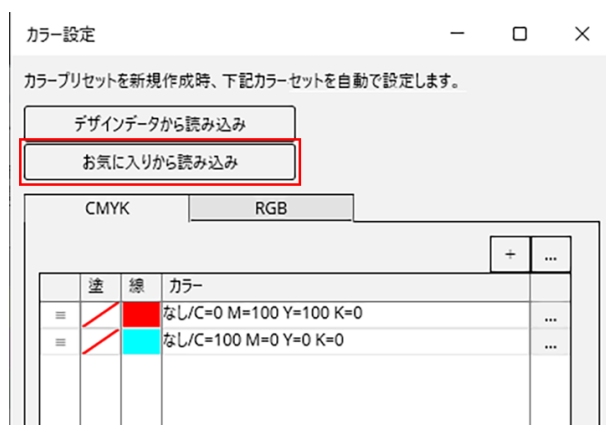
1 FineCut/Coatメニューの[プリセット設定]ボタンをクリックします。



2 [カラー設定]をクリックします。



3 [お気に入りから読み込み]をクリックします。



4 [セット条件]で[ツール]か[出力条件]を選択します。

- [ツール]：カラー別ツール指定のお気に入り設定から読み込みます。
- [出力条件]：カラー別出力条件のお気に入り設定から読み込みます。

カラー設定 > お気に入りから読み込み

機種：

お気に入り種類
☒ カラー

セット条件
☐ ツール
☒ 出力条件

以下カラーが追加されます

<input type="checkbox"/>	塗	線	カラー
<input type="checkbox"/>			なし/C=0 M=0 Y=0 K=100
<input type="checkbox"/>			C=100 M=0 Y=0 K=0/C=0 M=100 Y=0 K=0
<input type="checkbox"/>			なし/C=100 M=0 Y=0 K=0
<input type="checkbox"/>			なし/CutContour

キャンセル 追加

5 [読込]をクリックします。

- [カラー設定]画面（手順3の画面）にカラーが追加されます。

カラー設定 > お気に入りから読み込み

機種：

お気に入り種類
☒ カラー

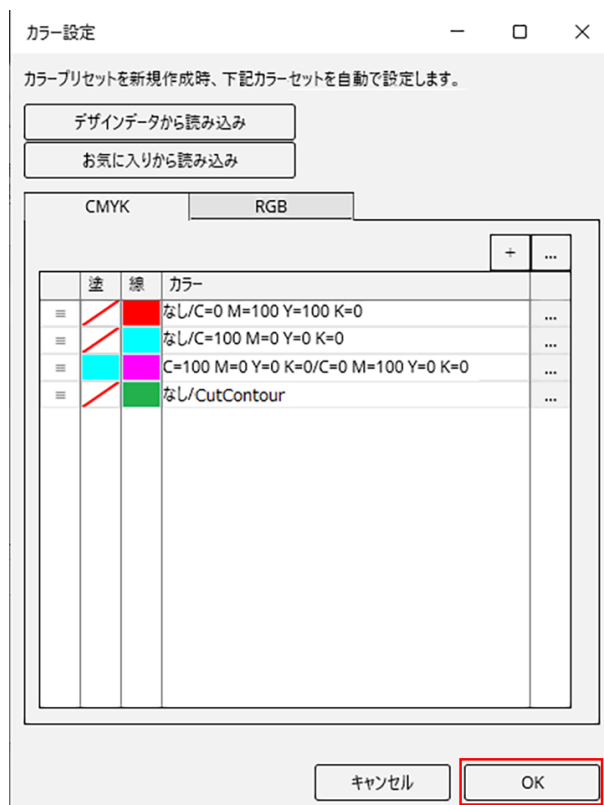
セット条件
☐ ツール
☒ 出力条件

以下カラーが追加されます

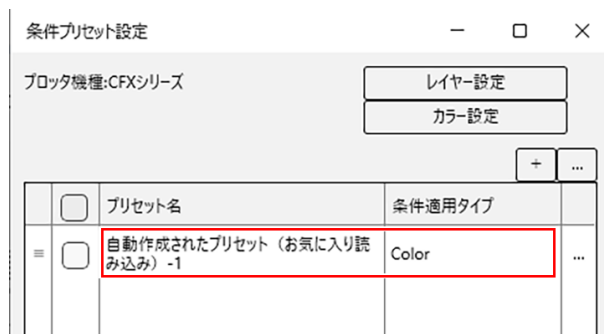
<input type="checkbox"/>	塗	線	カラー
<input type="checkbox"/>			なし/C=0 M=0 Y=0 K=100
<input checked="" type="checkbox"/>			C=100 M=0 Y=0 K=0/C=0 M=100 Y=0 K=0
<input type="checkbox"/>			なし/C=100 M=0 Y=0 K=0
<input checked="" type="checkbox"/>			なし/CutContour

キャンセル 追加

6 (カラー設定画面の)[OK]をクリックします。



- 条件プリセット設定にお気に入りから読み込んだ情報でプリセットが登録されます。
- プリセットには出力条件のみが反映されています。
- [レイアウト設定]、[トンボ設定]、[出力設定]は[編集]からプリセット編集画面を表示して設定してください。



第 6 章 機能説明



この章では...

プリセット・リプロットの各機能を説明します。

プリセット・リプロット登録情報一覧	60	「プロッタ/ユーザー設定」画面	63
		出力設定	63

6.1 プリセット・リプロット登録情報一覧

FineCut/Coat9 画面	設定項目		プリセット	リプロット	備考
[プロット]画面	シートサイズ		不可	不可	
	オフセット		可	可	
	幅		不可	不可	
	倍率		可	可	
	コピー		可	可	トンボ認識時は、トンボのコピー数を保存
	コピー間隔		可	可	トンボ認識時は、トンボのコピー間隔を保存
	枠		可	可	
	レイアウト	回転	可	可	
		移動	不可	不可	
		フィット	不可	不可	
		オリジナルに戻す	不可	不可	
		ミラー	可	可	
		縦横変倍	可	可	
		原点ロック	可	可	
		センターマーク	可	可	
		コーナーマーク	可	可	
		単位	不可	不可	
	タイリング	タイル分割	不可	不可	
		タイル分割の設定	不可	可	
		マーク	不可	可	
		タイル間隔	不可	可	
	トンボ	トンボ認識(通常トンボ)	可	可	対応機種のみ表示
		ティーチング認識	可	可	対応機種のみ表示
		トンボレイヤー認識	可	可	対応機種のみ表示
		トンボ認識レイヤー名	可	可	対応機種のみ表示
		コピー方式 (マルチ/ハザイ/連続)	可	可	対応機種のみ表示
		コピー	可	可	プロットのコピー数と共通項目
		コピー間隔	可	可	プロットのコピー数と共通項目
		検出箇所	可	可	対応機種のみ表示
		ID認証モード	可	可	対応機種のみ表示
		距離補正あり	可	可	対応機種のみ表示
		裏面カットモード	不可	可	対応機種のみ表示

FineCut/Coat9 画面	設定項目		プリセット	リプロット	備考
		エッジ検出	不可	可	対応機種のみ表示
		分割トンボ	不可	不可	
		ティーチングオフセット	可	可	対応機種のみ表示
		事前一括ティーチング	可	可	対応機種のみ表示
[プロット]画面	カラー/レイヤー	出力ON/OFF	可	可	
		カラー別出力条件指定	可	可	
		カラー別ツール指定	可	可	
		レイヤー別出力条件指定	可	可	
		レイヤー別ツール指定	可	可	
[プロッタ出力]画面	出力条件	プロッタの設定値	不可	可	
		条件名を指定	不可	可	
		カスタム	不可	可	
	カラー名/レイヤー名		不可	不可	
	IDカット	PDF/EPS	不可	可	
	オプション	ソートON/OFF	可	可	
		ソート方法	可	可	
		カット開始位置を変更する	可	可	
		カット終了後のヘッド退避	可	可	
		シートフィード	可	可	対応機種のみ表示
		オートカット	可	可	対応機種のみ表示
		罫引き(CRE)を2回出力する	可	可	対応機種のみ表示
		長尺分割カット	可	可	対応機種のみ表示
		カット開始位置の最適化	可	可	対応機種のみ表示
		カット方向の最適化	可	可	対応機種のみ表示
		カット範囲確認	不可	可	対応機種のみ表示
		外側を製品にする	可	可	対応機種のみ表示
		エッジ検出	可	可	対応機種のみ表示
		出力前バキュームON	可	可	対応機種のみ表示
		出力後バキュームOFF	可	可	対応機種のみ表示
		フルート方向	不可	可	対応機種のみ表示
		スタートエンド補正	可	可	対応機種のみ表示
		ジョイント制御	可	可	対応機種のみ表示
		コート剤残量	不可	不可	

FineCut/Coat9 画面	設定項目		プリセット	リプロット	備考
		プレビュー時に塗布ず れ補正を有効にする	不可	可	対応機種のみ表示

6.2 「プロッタ/ユーザー設定」画面

FineCut/Coatメニューの[プロッタ/ユーザー設定]ボタンをクリックして起動します。

出力設定

プリセット機能とリプロット機能の環境設定と、設定ファイルのインポートやエクスポートを行ないます。



項目		説明	初期値
[プロット前に必ず出力設定を選択する]		「プロット」画面を表示する前にプリセットの選択画面が表示されます。	オフ
[リプロット設定]	出力設定を記録する	プロット出力時の設定をデザインデータに紐づけて記録します。 記録できる設定項目については、プリセット・リプロット機能ガイドを参照してください。	オン
	編集集中の出力設定を記録する	出力設定を編集集中に「プロット」画面を閉じた場合、プロット出力時と同様に、デザインデータと紐づけて出力設定を記録します。	オフ
	インポート	エクスポートしたリプロット設定ファイルを読み込みます。	-
	エクスポート	選択中の機種のリプロット設定ファイルを書き出します。	-
	削除	選択中の機種のリプロット設定ファイルをすべて削除します。	-

第7章 こんなときは



この章では...

トラブルが起きたときの解消方法や、やり方がわからないときの操作方法などを説明します。

リプロット機能やプリセットを別PCに移行したい	66
リプロット機能のエクスポートとインポート	67

プリセットのエクスポートとインポート ...	69
出力条件設定のエクスポートとインポート	72

7.1 リプロット機能やプリセットを別PCに移行したい

リプロット機能やプリセットの移行には、それぞれのファイルに加えて出力条件設定ファイルが必要です。以下を参考に元のPCから別のPCにファイルを移行してください。

● リプロット機能ファイルを別PCに移行する場合

- ・「リプロット機能」ファイル
☞ [「リプロット機能のエクスポートとインポート」](#)（P. 67）
- ・「出力条件設定」ファイル
☞ [「出力条件設定のエクスポートとインポート」](#)（P. 72）

● プリセット機能ファイルを別PCに移行する場合

- ・「プリセット」ファイル
☞ [「プリセットのエクスポートとインポート」](#)（P. 69）
- ・「出力条件設定」ファイル
☞ [「出力条件設定のエクスポートとインポート」](#)（P. 72）

リプロット機能のエクスポートとインポート

- 1 移行元のPCでFineCut/Coatメニューの[プロッタ/ユーザー設定]ボタンをクリックします。



- 2 [出力設定]タブの[リプロット設定] - [インポート]をクリックします。



- 3 ファイルの場所とファイル名を指定して、[OK]をクリックします。
- 4 移行先のPCでFineCut/Coatメニューの[プロッタ/ユーザー設定]ボタンをクリックします。



- 5 [プロッタ]タブの[プロッタ機種]を、元のPCと同じ機種に設定します。

6 [出力設定]タブの[リプロット設定] - [インポート]をクリックします。



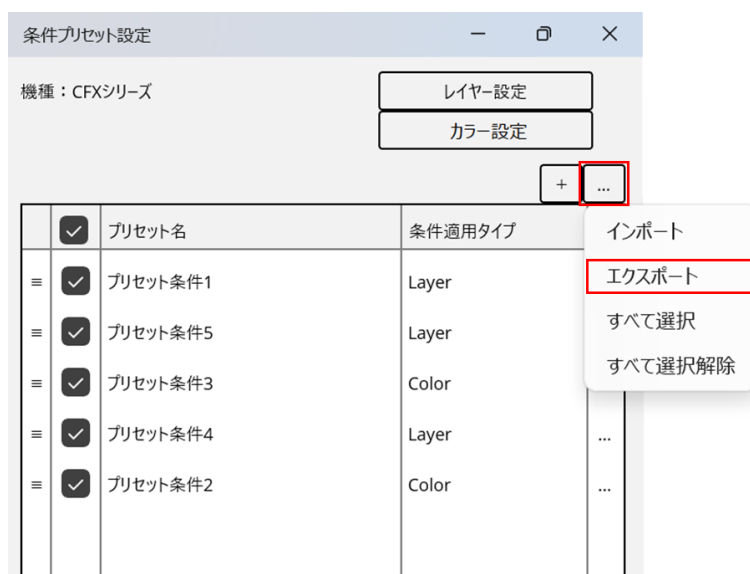
7 手順4で保存したファイルを指定して読み込みます。

プリセットのエクスポートとインポート

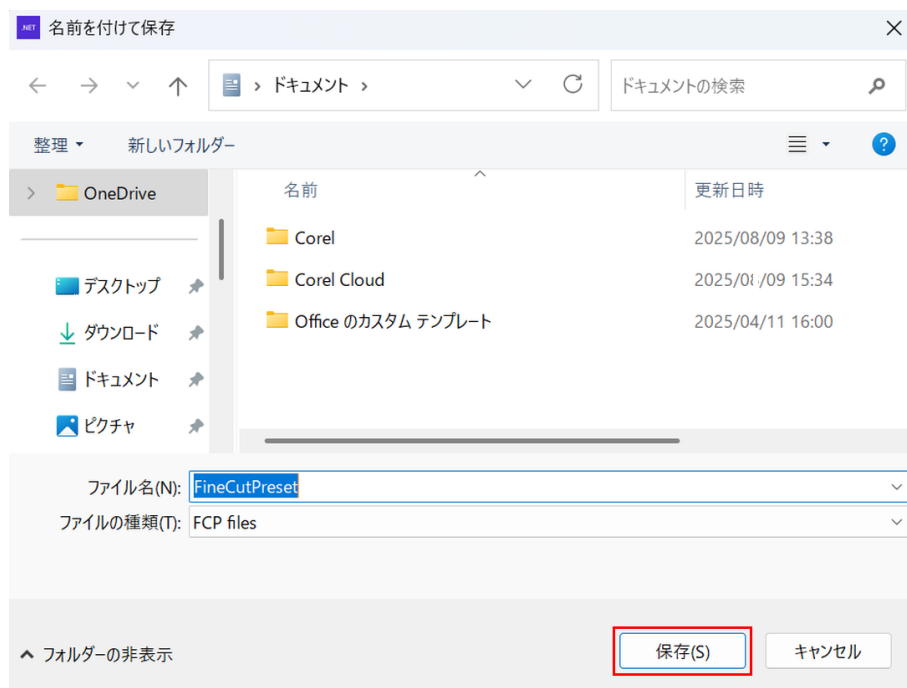
- 1 移行元のPCでFineCut/Coatメニューの[プリセット設定]ボタンをクリックします。



- 2 エクスポートするプリセットのチェックボックスをオンにし、右上の [...] ボタンをクリックして、サブメニューから[エクスポート]をクリックします。



3 ファイルの場所とファイル名を指定して、[OK]をクリックします。



4 移行先のPCでIFineCut/Coatメニューの[プロッタ/ユーザー設定]ボタンをクリックします。



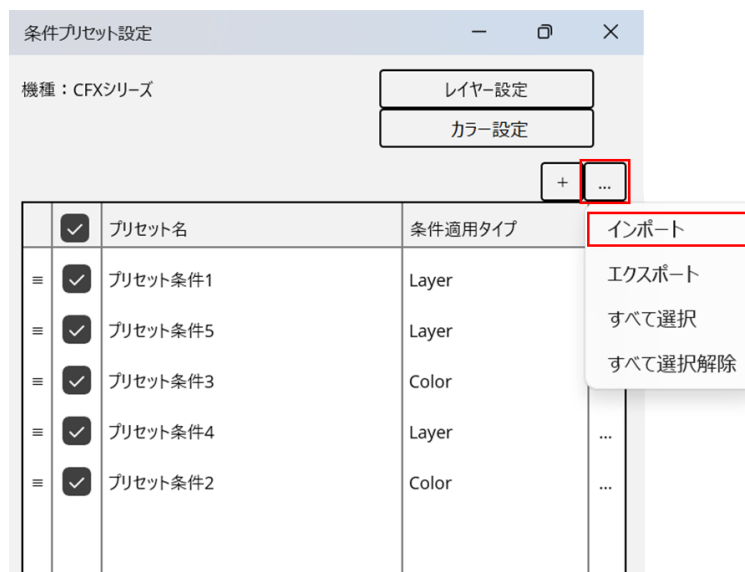
5 [プロッタ]タブの[プロッタ機種]を、元のPCと同じ機種に設定します。



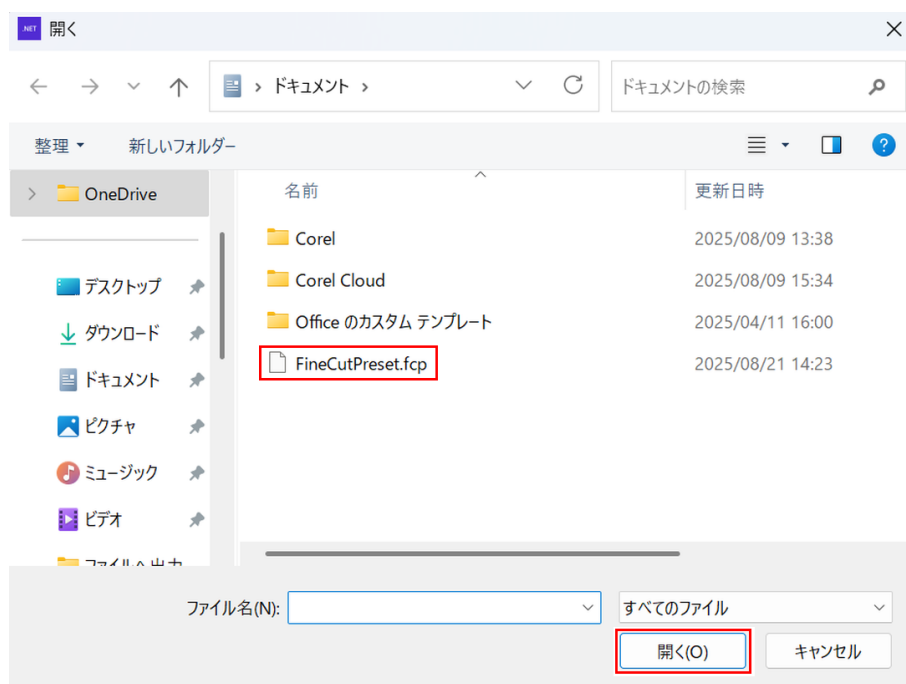
6 FineCut/Coatメニューの[プリセット設定]ボタンをクリックします。



7 右上の  ボタンをクリックして、サブメニューから[インポート]をクリックします。



8 手順3で保存したファイルを指定して読み込みます。



出力条件設定のエクスポートとインポート

- 1 移行元のPCでFineCut/Coatメニューの[プロッタ/ユーザー設定]ボタンをクリックします。



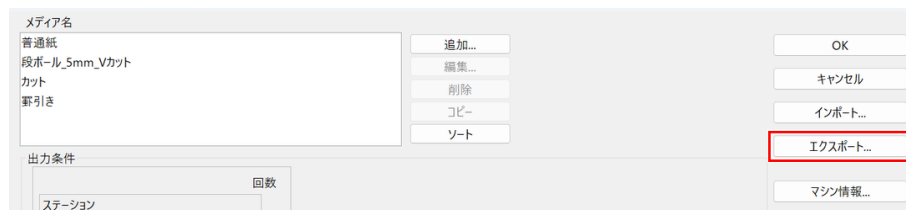
- 2 [プロッタ]タブの[プロッタ機種]を出力条件をエクスポートする機種に設定します。



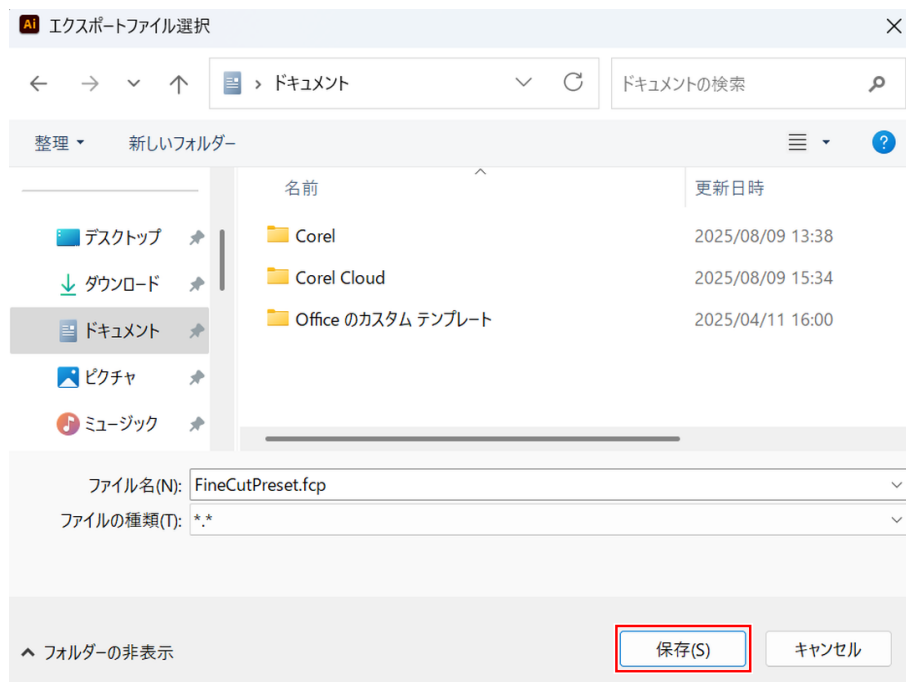
3 [出力条件設定]ボタンをクリックし、[出力条件設定]画面を開きます。



4 [エクスポート]ボタンをクリックします。



5 ファイルの場所とファイル名を指定して、[保存]をクリックします。



- 6 移行先のPCでFineCut/Coatメニューの[プロッタ/ユーザー設定]ボタンをクリックします。



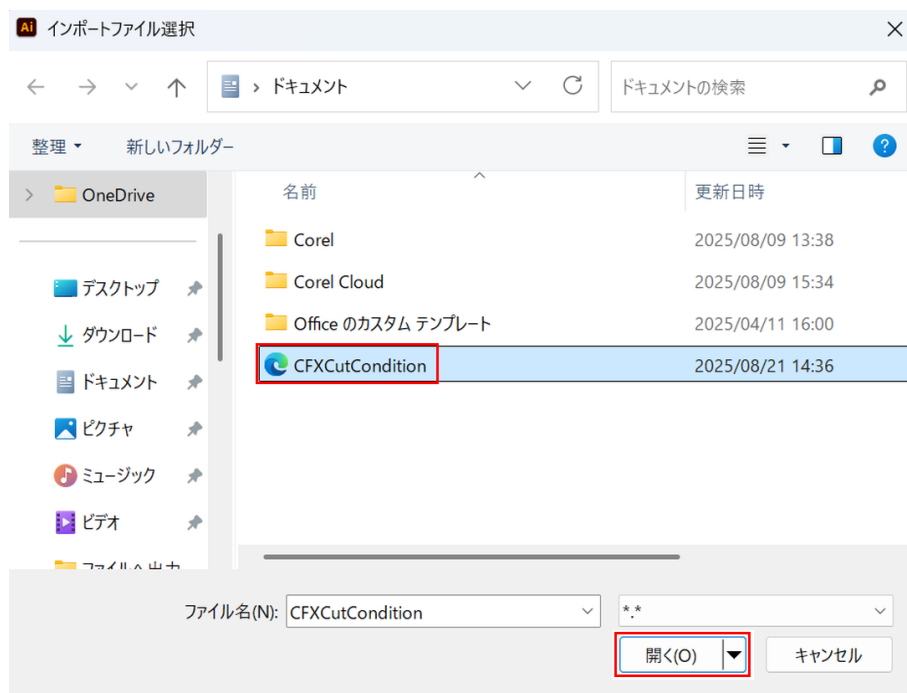
- 7 [プロッタ]タブの[プロッタ機種]を、元のPCと同じ機種に設定します。



- 8 [出力条件設定]画面を開き、[インポート]ボタンをクリックします。



9 手順5で保存したファイルを指定して読み込みます。



FineCut/Coat9 プリセット・リプロット機能ガイド

2025年12月

発行者	株式会社ミマキエンジニアリング
発行所	株式会社ミマキエンジニアリング
	〒389-0512
	長野県東御市滋野乙2182-3

